



press release

朝日新聞

2021年11月1日

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

『銀河鉄道 999 シネマ・コンサート』再演決定！

2022年1月9日(日)大阪・フェスティバルホールで

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:中村史郎)は、2022年1月9日(日)に『銀河鉄道 999 シネマ・コンサート』(<http://www.promax.co.jp/galaxyexpress999/>)を、フェスティバルホール(大阪)で開催します。



本公演は今年2月に東京と大阪(堺)で初演され、6月に東京で再演。いずれもチケットが完売した人気プログラムです。東京と大阪での公演後、ファンから再演を希望する声が多く寄せられ、今回の大阪公演が実現しました。また、東京では、11月23日(火・祝)に「銀河鉄道 999」と「さよなら銀河鉄道 999」のシネマ・コンサートの一挙上演も決定しました。

>

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 総合プロデュース本部

TEL 03-5540-7761 FAX 03-3248-0939



シネマ・コンサートとは、映画のセリフや効果音はそのままに、音楽部分をオーケストラが本編上映に合わせて生演奏するもので、映画をライブ感覚で楽しめるエンターテインメントです。2015年秋に映画「ゴッドファーザー」シネマ・コンサートが日本に上陸。以来、数々の洋画、邦画の名作を題材に上演され、日本にシネマ・コンサートの文化が根付きました。

松本零士・原作の「劇場版銀河鉄道 999」（監督：りんたろう/脚本：石森史郎）は1979年8月4日に劇場公開されたアニメーション作品。1978年9月よりTVアニメの放送が始まっており、劇場版はTV放送から1年を経て「銀河鉄道 999」の人気の高まっていたタイミングで公開。同年の邦画動員の1位となり、当時16億5000万円超の興行収入を上げ大ヒットした作品です。主人公の星野鉄郎、謎の美女メーターに999号の車掌と魅力あふれる登場人物に加え、松本零士作品の人気キャラクター、キャプテン・ハーロックやクイーン・エメラルダスも登場します。なんといっても素晴らしいのは音楽を担当した青木望が作曲したスコア。叙情的なストリングスを多用し全編にわたって美しい旋律が奏でられます。

本公演では、主題歌を歌ったゴダイゴのタケカワユキヒデが前回同様スペシャルゲストとして参加します。巨大なスクリーンに上映される映像と、フル・オーケストラの演奏と共にライブで歌唱。この上ない豪華なコラボレーションが実現します。

<銀河鉄道 999 シネマ・コンサート大阪公演概要>

日時：2022年1月9日（日）16:00 開場 / 17:00 開演

会場：フェスティバルホール（大阪市北区中之島）

指揮：栗田博文

演奏：日本センチュリー交響楽団

スペシャルゲスト：タケカワユキヒデ

チケット価格（全席指定）：

S席 9,800円 / A席 7,800円

チケット発売中

※チケットのお問い合わせ：キョードーインフォメーション 0570-200-888（日祝を除く11:00～16:00）

※公式サイト（<http://www.promax.co.jp/galaxyexpress999/>）